

【別紙1】式典演出の概要

式典演出の概要

アトラクションは、3つのアトラクションを通して、大会テーマ「人・森・川 つなげ 未来へ 彩の国」を多くの県民の参加の下で、ストーリー性豊かに表現します。

埼玉県の多彩な森林を次世代へとつなげ、これからも輝く未来を実現することを参加者全員で誓う演出とします。

＜アトラクションナビゲーター＞



林家たい平さん



朝日奈央さん

プロローグアトラクション

気づき

～人・森・川 つながる彩の国～

埼玉県の豊かな自然や文化、森林・林業を紹介しながら、埼玉県における「人・森・川 のつながり」にフォーカスし、県民パフォーマンスを交えて表現します。

- 林家たい平師匠によるふるさと秩父の思い出語りを呼び水に、みんなの胸にそれぞれの森林の思い出が絵日記のごとく浮かびます。
- 森林資源の活用・木材の利用拡大を図る「^{かつじゅ}活樹」の必要性を紐解きます。
- 「山林の唄」として、光あふれる秩父の山林を保つ人たちとの出会いと、そのふもとで育まれてきた暮らしと文化の輝きを、映像、ダンス、伝統芸能を交えて描きます。
- 「平地林の唄」として、里の暮らしと共存してきた武蔵野の森林の特徴を学ぶとともに懐かしい情景を文豪や本多静六氏の目を通して描きます。
- プロローグアトラクションの各シーンで登場した「森」や「人」等のパフォーマーが、「川」を仲立ちとしてつながり、その様を音楽とパフォーマンスで表現します。

記念式典

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、緑化功労者等の各種表彰、苗木の贈呈、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を実施します。



お手植え



お手播き



各種表彰



苗木の贈呈



リレーセレモニー

大会テーマの表現

約束

～ここから未来へ つなげる彩の国～

森林の多面的機能に注目しながら、県民の活動が未来へとつながっていくことにフォーカスし、大会テーマをわかりやすく表現。森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」を推進し、埼玉県多彩な森林を次世代へとつなげていくことを誓い、全国へ発信します。

- 朝日奈央さんのナビゲートで、日本で最初の林学博士「本多静六氏」を紹介。
- オリジナル楽曲によって、彩の国をめぐる「水の環」と彩の国に広がる「森の環」が水の循環と森の関わりをダンスで表現します。
- 森林の多面的機能を紹介し、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の重要性を訴えます。
- 水の環、森の環、人の環、3つの環が絡み合う中、「伐って」「使って」「植えて」「育てる」サイクルに深く関わる林業・木材産業関係者の決意表明が行われます。
- 音楽隊がオリジナル楽曲を演奏する中、水の環と森の環は輪舞し、人の環はそれらに寄り添います。本多静六博士の思いと、県民の決意を融合させた歌詞を歌い上げ、大会テーマを感動的に表現します。



「水の環」



「人の環」



「森の環」



本多静六博士

エピローグアトラクション

ハーモニー

～誓いと行動 奏でる彩の国～

森林を次世代へとつなぐ誓いを、全国からの参加者と共有し、未来へとむかうフィナーレです。

- ナビゲーターの林家たい平さんと朝日奈央さんと一緒に式典を振り返ります。
- 「活樹」の推進について、埼玉からメッセージを発信し、改めて訴えます。
- 全ての出演者が登場するとともに、吉澤嘉代子さんが大会テーマソングを歌唱し、感動のフィナーレを迎えます。